

# ベトナム戦争終結40周年記念講演会

日時 2015年4月30日(木) 午後6時—9時

会場 日本教育会館

講演者 高橋武智(わだつみ会理事長・元ベ平連ジャテック)  
和田春樹(元大泉市民の集い)  
レ・ヴァンタム(元ベ平統)  
伊藤正子(京都大学准教授・『戦争記憶の政治学』著者)

資料代 1000円

いまから四〇年前の一九七五年四月三〇日、サイゴンが陥落し、南ベトナム大統領官邸の上に南ベトナム臨時政府の旗があがりました。アメリカがつくりあげたサイゴン政権が押し倒され、ベトナム戦争は終わったのです。

アメリカの敗北はアメリカと戦いつづけてきたベトナムの人々の勝利であり、それと同時に、アメリカの国内と全世界でベトナム戦争に反対して立ち上がった人々の勝利でした。私たちも、その年五月一〇日、東京で「インドシナ人民勝利万歳」という横断幕を先頭に喜びのデモをしました。

しかし、一九九五年七月一日、ベトナム敗戦から二〇年目に、アメリカはベトナムと国交正常化を行ったが、いかなる謝罪も反省もなく、償いも補償もなされなかった。枯れ葉剤散布の被害者である障害児はなお生まれている。その被害が自分たちの軍隊が散布したダイオキシン剤のせいだということすらアメリカ政府はいまだ認めようとしていない。

そして、ベトナム共産党は「過去にフタをして、未来に向かおう」という悲しいスローガンをかかげて、アメリカ、韓国との経済関係の発展に力を入れている。そしてアメリカは中東で戦争をつづけている。イスラム世界に苦しみをつくり出し、自分たちの国民をも無益な戦争の中で死に追いやっている。

一体、ベトナムの人々のアメリカ軍に対する勝利は何であったのか、考えてみよう。

---

呼びかけ人 吉川勇一、吉岡忍、高橋武智、和田春樹、佐伯昌平、志賀寛子

連絡先 045-903-0663(高橋) 03-3922-1219(和田)